

令和5年度

第18回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和5年12月7日(木)
開会15時05分 閉会15時25分

場 所 教育委員室

令和5年度
第18回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 教育委員会委員の辞職について

(2) 報 告

- ① 令和5年第4回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について
- ② 科学の甲子園大分県大会の結果について

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	岡 本 天津男
	委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
	委 員	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 恵 代
	委 員	岩 武 茂 代
事務局	理事兼教育次長	渡 辺 登
	教育次長	三 浦 一 雄
	教育次長	武 野 太
	参事監兼特別支援教育課長	升 井 淳 二
	教育改革・企画課長	鈴 木 耕 平
	教育財務課長	神 崎 文 隆
	義務教育課長兼幼児教育センター所長	小 野 勇 一
	高校教育課長	山 田 誠 司
	教育改革・企画課 総務企画監	小 野 裕 二
	教育改革・企画課 課長補佐 (総括)	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	長 山 佳 史
	教育改革・企画課 主任	久 知 良 周 平

2 傍聴人

2 名

開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

それでは、ただ今から、令和5年度第18回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いします。

会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は15時30分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

(岡本教育長)

会議は原則として公開することとなっておりますが、第1号議案は人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(岡本教育長)

第1号議案は、非公開といたします。

(岡本教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

① 令和5年第4回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について

(4課〔教育改革・企画課、教育財務課、義務教育課、特別支援教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「令和5年第4回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について」教育改革・企画課長から説明をしてください。

(鈴木教育改革・企画課長)

令和5年第4回定例県議会追加議案に対する教育委員会の意見について、説明します。資料2ページをご覧ください。

令和5年第4回定例県議会に追加提出された議案「令和5年度大分県一般会計補正予算(第3号)」について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、知事から教育委員会の意見を求められました。

本来であれば知事への回答にあたり、教育委員会で議決していただくところですが、日程の都合上、協議できませんでしたので、大分県教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則第3条第1項に基づき、教育長が臨時代理として処分し、資料3ページのとおり異議のない旨回答しましたので、同条第2項に基づき、本委員会に報告します。

議案の内容等については担当課長から説明します。

(神崎教育財務課長)

第108号議案「令和5年度大分県一般会計補正予算(第3号)」の教育委員会所管分について、説明します。資料4ページをご覧ください。

「県立学校施設整備事業」の予算案は、4億1,001万1千円です。

国の補正予算を活用し、老朽化した校舎等の大規模改造など、県立学校の施設整備を前倒して行うものです。なお、国の内示が年明け以降となるため、補正予算額の全額について、繰越をお願いしています。

続いて、「児童等被害防止対策推進事業」の予算案は、510万円です。

市町村立幼稚園における性被害の未然防止と早期発見等のため、施設設置者が行うパーテーション等の整備に対し助成するとともに、特別支援学校についても整備するものです。

最後に、債務負担行為の設定について説明します。

令和6年度に実施する「令和7年度教員採用選考試験」の1次試験実施日を、1ヶ月前倒しすることに伴い、例年4月に契約していた問題作成業務委託を前倒して令和5年度内に発注するものです。

報告は以上です。

(岡本教育長)

ご質問、ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

② 科学の甲子園大分県大会の結果について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第2号「科学の甲子園大分県大会の結果について」高校教育課長から説明をしてください。

(山田高校教育課長)

今年度の科学の甲子園大分県大会が、11月3日に県教育センターで行われました。

17校から28チームが出場し、総勢201名が参加しました。例年規模の参加校及び参加人数でした。

内容としては、6科目の筆記競技、実験競技Ⅰ「化学の実験」、実験競技Ⅱ「ものづくり(物理)の実験」の3つの競技で点数を競うというものです。

競技終了後は、例年講演会を実施していますが、今年度は「製薬企業研究者としての凍結乾燥研究との出会い」をテーマに、第一三共株式会社 製剤技術研究所の主任研究員である児玉 達弘氏から、ご自身の研究内容や研究者になる方法などについて、講演をいただきました。児玉氏は大分舞鶴高等学校の卒業生です。

参加した生徒は大変興味深く話を聞いており、医薬品に関することや研究者の仕事内容などについて多くの質問がなされ、質疑応答も盛り上がっていました。

競技の結果については、大分上野丘高等学校が2年振りに最優秀賞を受賞しました。

また、高田高等学校が2位で優秀賞を、玖珠美山高等学校が4位で優良賞を受賞しました。これは、地域の高等学校で、科学好きの生徒がしっかりと学んでいる結果であり、高校教育課としても大変嬉しく思っています。

最優秀賞を受賞した大分上野丘高等学校は、令和6年3月15日から茨城県つくば市で開催予定の全国大会に参加します。

報告は以上です。

(岡本教育長)

ご質問、ご意見はありませんか。

(高橋委員)

1位の学校と2位の学校の点差が開いていますが、どのように分析していますか。

(山田高校教育課長)

180点満点の実験競技Ⅱ「ものづくりに関する総合競技」が難しく、点差が開いたことと、1位の大分上野丘高等学校は筆記競技で高い点数を獲得していることが大きな要因となっています。

なお、全国大会では例年実験競技に重きが置かれており、科学の本質的な部分が問われる内容になっています。

(高橋委員)

大会にはどのような生徒が参加していますか。

(山田高校教育課長)

各学校とも、特に科学部の生徒というわけではなく、一般の生徒の中で科学好きな生徒が在籍しているとの報告を受けています。

(高橋委員)

講師の児玉さんは、どのような話をされましたか。

(篠田指導主事〔高校教育課〕)

最先端の研究内容についてや、研究者としてどのようにあるべきかという話、どうすれば研究者になれるのかという内容でした。また、研究者に限ったことだけではなく、どのような職種でも日頃の努力の積み重ねが大事であるという、高校生にエネルギーを与えてくれるような内容でした。

(高橋委員)

生徒からはどのような質問が出ましたか。

(篠田指導主事〔高校教育課〕)

研究者の日常についてや、研究者になるためには具体的に何が必要かなどの質問が出ており、高校生も研究者という仕事に対して非常に興味を持っているということが伝わってきました。

(林委員)

数学はどのような問題が出題されましたか。

(山田高校教育課長)

1つの大きな円の中に、沢山の合同な円を入れていきます。入れ方には様々なパターンがあり、接していても、離れていても問題ありません。その、中に入れた円の半径の最大値を求めるという内容です。具体的な値だけでなく、一般化まで導き出させる難しい問題でした。

(林委員)

難しい問題に対して、どのような考え方をすればよいかといったことが、どの高校の生徒にも万遍なくできるようになって欲しいと思います。

(山田高校教育課長)

高校の授業でも、具体的な小さい数から傾向を探り、最終的に一般化するような学びを行うことが大事であると思いました。

(林委員)

ぜひ多くの学校で、難しい問題も含めて、数学に興味を持って取り組んで欲しいと思います。

(岩崎委員)

実験競技Ⅱの「ものづくりに関する総合競技」とは、具体的にどのような内容でしたか。

(篠田指導主事 [高校教育課])

段ボールと工作用紙を使って、粘土を特定の地点まで飛ばすにはどうしたらよいかという課題を事前に与えておき、当日実際に飛ばさせて、その正確性を競う競技でした。

紙を使って弾力性を活用した発射装置を作成するだけでなく、特定の地点に粘土を着地させるためのコントロールも必要でした。

(篠田指導主事による実演)

(山田高校教育課長)

飛距離だけでなく、狙った地点に着地させることができるかという内容でしたので、正確性がこの実験の難しさであったと思います。

(高橋委員)

バネの強さを計算して、狙った場所まで飛ばさないといけないということですね。

(岩武委員)

全国大会でも、今回の実験競技Ⅱのように事前に課題を与えておき、当日実際に作成するような競技が行われますか。

(篠田指導主事 [高校教育課])

事前に課題が与えられるかどうかは確認できていませんが、同様の実験競技が行われます。

(山田高校教育課長)

大分県大会では、実験競技Ⅱについては事前に内容を学校に伝え、生徒が対策を立ててから競技に挑みますが、それでも全体的に点数が低かったので、かなり難しかったのだらうと思います。

(岩武委員)

全国大会に出場する大分上野丘高等学校には、ぜひ優秀な成績を収めてほしいと思います。そのためには、やはり実験競技Ⅱで点数を伸ばさないといけないと思います。大分県はロボット競技で優秀な成績を収めている高校があるので、ものづくりに関しては、そのような学校から学ぶことも一つの手段であると思います。

(高橋委員)

ヒントを得るということですね。

(山田高校教育課長)

過去の実験の出題傾向を調べて、アドバイスを与えてくれるような高校があれば、大分上野丘高等学校に紹介したいと思います。

(岩武委員)

ぜひ全国大会で日本一になれるように、頑張ってもらいたいと思います。

(鈴木委員)

大分上野丘高等学校の化学室を拝見した際に、飾りきれないほど多くの賞状をもらっていました。過去の先輩方が頑張ってきた歴史ですので、ぜひ見えやすいように掲示していただきたいと思います。

(岡本教育長)

続いて、先に非公開と決定しました議事を行いますが、その前に、公開の議事でその他、何かありますか。

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

(岡本教育長)

それでは、第1号議案の審議を行いたいと思いますが、教育委員の人事に関することですので、これを記録することは適当でないと考えます。

したがって、大分県教育委員会会議規則第14条第2項ただし書により、これを記録する必要のない事項とすることについて、委員の同意を求めます。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

委員の同意を得ましたので、そのように取扱います。

それでは、本議案の審議に必要な職員以外は、退出をしてください。

【議 案】

第1号議案 教育委員会委員の辞職について

(1課〔教育改革・企画課〕入室)

(岡本教育長)

第1号議案「教育委員会委員の辞職について」は、林委員が大分県教育委員を辞職することに関し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第10条の規定により、教育委員会として同意することをお諮りするものです。

同法第14条第6項に「自己の一身上に関する事件」について、委員はその議事に参与することができない旨の規定があるため、林委員は本議案の議事に参与できませんので、退室をお願いします。

(林委員退室)

(岡本教育長)

林委員の辞職の同意について、ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

それでは、第1号議案の承認についてお諮りします。

承認される委員は、挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(岡本教育長)

第1号議案について、提案のとおり承認します。

(林委員入室)

(岡本教育長)

教育委員会は、林委員の申し出のとおり、12月22日をもって委員を辞職することに同意しました。

(岡本教育長)

最後にその他、何かありますか。

それではこれで、令和5年度第18回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。